2025年度 愛知学泉大学シラバス

シラバス番号	科目名	担当者名	実務経験のある教員による授業科目	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
120111030	住生活論 Theory of Living Arrangement	丹羽 誠次郎			2	必修	1前期
科目の概要							
この科目では、生活の器である私たちの「住まい」のかたちを規定している様々な要因について考えることから「住む」ことの意味を問い直していく。本科目の学修は、DP4「人々の日常生活を衣・食・住および地域活性の面から支援することができる」ようになるための基礎に位置付けられる。15週の授業では、まず、現在の私たちの住様式に大きく関わる近代以降の日本の住宅の変遷を概観したのち、家族が安全、快適に暮らすために住まいとまちに求められる基本的な条件を理解していく。また、今後さらに必要となる環境に配慮した住まいや多様な生活スタイルに対応できる住まいのあり方についても理解していく。							
学修内容				到達目標			
① 現在の私たちの住様式に至るまでの、日本の住まいの変遷を学ぶ。 ② 安全に生活するために住まいに求められる条件を学ぶ。 ③ 快適な生活を送るために住まいに求められる条件を学ぶ。 ④ 環境や多様な生活スタイルに配慮した住まいのあり方を学ぶ。				① 現在の自分たちの住まいを日本の住まいの伝統的な特徴と比較し説明できる。 ② 安全性を保証するために住宅に必要とされる条件を説明できる。 ③ 快適な生活を送るために住宅に必要とされる条件を環境や社会との関係から説明できる。 ④ これからの住宅のあり方を環境への配慮や多様な生活スタイルとの関係から説明できる。			
学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素		学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例					
前に踏み出す力	主体性	配布資料を読み、文献を調べて、予復習をしたうえで授業に臨んでいる。					
	働きかけ力						
	実行力	教員からの指示に従うだけでなく、より高い目標を設定し、学修に取り組むことができる。					
考え抜く力	課題発見力	授業で得た知識を、これまでに獲得した知識あるいは自身の住まいや住まい方と結びつけながら考え、理解することができる。					
	計画力						
	創造力	複数の観点を総合しながら、豊かな住まいのあり方について考えることができる。					
チームで働く力	発信力	学修した内容に自分の見解を加味しつつ、的確な文章で表現することができる。					
	傾聴力	意見交換の場面で、人の意見を確認し、さらに自分の意見を述べるすることができる。					
	柔軟性						
	状況把握力						
	規律性	無断欠席、遅刻、授業中の居眠りや私語などを授業に支障をきたす行為を慎み、円滑な授業運営に協力できる。					
	ストレスコントロール力						
テキスト及び参考文献							
テキスト：使用しない。講義概要は授業内で事前配布する。資料はgoogle classroomにて提示する。 参考文献： 授業内で適宜紹介していく。 レポートの作成にあたっては以下を参照 「阪大生のためのアカデミック・ライティング入門」 https://ir.library.osaka-u.ac.jp/repo/ouka/all/71454/							
他科目との関連、資格との関連							
住関連の科目（インテリアデザインⅠ、住文化論、住宅計画、住居管理論、インテリアデザインⅡ）のイントロダクションに位置する科目であり、卒業と教職中一種（家庭）、教職高一種（家庭）の必修科目となっているので必ず受講し、単位を取得すること。							
学修上の助言				受講生とのルール			
資料はGoogle classroomで提示する。 毎回の授業の内容を予・復習し、つねに自分の住まいや住まい方と結びつけながら考え、理解するように取り組んでほしい。				各回の授業の終了時に、次回授業の講義概要を示すので、事前に内容を確認し、不明な点は調べておくこと。また、授業内で紹介する参考文献についても積極的にあたってほしい。 6回以上の欠席（遅刻は3回で欠席1回分とする）は科目放棄として扱う。			

【評価方法】

評価対象	評価方法		評価の割合	到達目標				各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント	
学修成果	学期末試験	筆記（レポート含む）・実技・口頭試験	70	①	✓			※学期末に以下の点についての理解を確認するための筆記試験を行う。 ・現在の日本の住様式を伝統的な特徴と比較し説明できる。 ・快適な生活を送るために住宅に必要とされる条件を環境や社会との関係から説明できる。 ・安全性を確保するために住宅に必要とされる条件を説明できる。 ・これからの住宅のあり方を環境への配慮や多様な生活スタイルとの関係から説明できる。 筆記試験の配点は凡そ以下の通り 獲得…住まいに関する用語や数値が正しく理解されているかを確認する設問（50%）。 活用…用語の意味を自身の言葉で正しく説明できるかを確認する設問（21.4%）。 解決…図を読み解き、その意図を正しく説明できるかを確認する設問（28.6%）。	
				②	✓				
				③	✓				
				④	✓				
	平常評価	小テスト		0	①				
					②				
					③				
					④				
		レポート		20	①	✓			
					②	✓			
成果発表（プレゼンテーション・作品制作等）		0	①						
			②						
			③						
			④						
学修行動	社会人基礎力（学修態度）	10	①	✓			【主体性】配布した講義概要を読み、文献を調べて、予・復習をしたうえで授業に臨んでいる。 【実行力】毎時おこなう振り返りで自身の学修状況を確認し、そこからさらに高い目標を設定できる。 【課題発見力】授業で得た知識を、これまでに獲得した知識あるいは自身の住まいや住まい方と結びつけながら考え、理解することができる。 【創造力】複数の観点を総合しながら、豊かな住まいのあり方について考えることができる。 【発信力】学修した内容に自分の見解を加味しつつ、的確な文章で表現することができる。 【傾聴力】意見交換の場面で、人の意見を確認し、さらに自分の意見を述べるすることができる。 【規律性】無断欠席、遅刻、授業中の居眠りや私語などを授業に支障をきたす行為を慎み、円滑な授業運営に協力できる。提出物については期限を守ることができる。		
			②	✓					
			③	✓					
			④	✓					
総合評価割合			100						

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
・授業内で出された課題から関連項目まで調べて授業に参加している。 ・授業内容が十分に理解できており、かつ用語や数値の意味を自分の言葉として説明することができる。 ・上記2項目に加えて、筆記試験の解答・レポート中に確かな根拠に基づいた自身の価値観を提示できた場合S(秀)評価とする。	・授業内で出された課題がすべて予習されている。 ・授業内容全体が理解できており、用語や数値の意味が説明できる。 以上の条件が満たされた場合にB評価とする。 C評価の基準は授業計画「到達レベルC(可)の標準」に準ずる。

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1	第0講 住まいを記述する設計図書の種類と図面の読み方について学ぶ。	オンデマンド授業 演習 ※第0講のオンデマンド授業は第5講の授業開始時まで確認・理解しておくこと。	簡単な平面図を読むことができる。	(予習) 配布された資料を読んで、授業内容を確認しておく。 (復習) 授業ノートを整理する。身近にあるさまざまな間取り図を読んでみる。	120	主体性 実行力 課題発見力 規律性
2	第1講 はじめに/ウチとソト 「住む」という生活行為について考える。	講義/ディスカッション	衣生活・食生活と比較しながら「住む」ことについて考えられる。	(予習) シラバスを読み、科目概要を理解しておく。 配布された講義概要を読んで、第2講の授業内容を確認しておく。 (復習) 授業ノートを整理する。授業内容の確認シートを提出する (Google forms)。	180	主体性 実行力 規律性
3	第2講 伝統的な住まい 風土、文化と住まいのかたちの関係について考える。 近代以降の住まいの特徴について知る。	講義	世界各地のヴァナキュラーな住宅の事例に関心を持てる。 近代以降の住まいの変化を理解できる。	(予習) 配布された講義概要を読んで、第2講の授業内容を確認しておく。 (復習) 授業ノートを整理する。その他のヴァナキュラーな住宅の事例を調べる。	180	主体性 実行力 課題発見力 規律性
4	第3講 日本の住まい (その1/日本の住まいの特徴) 日本の風土、文化と住まいのかたちの関係について考える。 伝統的な住まいの特徴について知る。	講義/グループワーク	日本の伝統的な住まいの特徴について説明できる。	(予習) 配布された講義概要を読んで、第3講の授業内容を確認しておく。 (復習) 授業ノートを整理する。	180	主体性 実行力 課題発見力 規律性
5	第4講 日本の住まい (その2/住まいの近代化①) 明治期以降の住宅改善の流れを辿る。	講義	社会の近代化と関連付けながら住生活の変化を理解できる。	(予習) 配布された講義概要を読んで、第4講の授業内容を確認しておく。 (復習) 授業ノートを整理する。	180	主体性 実行力 課題発見力 規律性
6	第5講 日本の住まい (その3/住まいの近代化②) 戦後のnLDKの成立までの流れを辿る。	講義	戦後の家族像と関連付けて住生活の変化を理解できる。	(予習) 配布された講義概要を読んで、第5講の授業内容を確認しておく。 (復習) 授業ノートを整理する。	180	主体性 実行力 課題発見力 発信力 規律性
7	第6講 日本の住まい (その4/まとめ)	講義 ビデオ鑑賞	ビデオの内容を前2回の講義内容と対応させて理解できる。	(予習) 配布された講義概要を読んで、第6講の授業内容を確認しておく。 (復習) 授業内容からレポートを作成する。	210	主体性 実行力 課題発見力 発信力 規律性
8	第7講 ヒトとすまいのスケール (その1) 住まいの大きさと人体寸法の関係について考える。	課題レポートの総評 (フィードバック) 講義 実習	住まいの大きさと人体寸法の関係性が理解できる。	(予習) 配布された講義概要を読んで、第7講の授業内容を確認しておく。 (復習) 授業ノートを整理する。	180	主体性 実行力 課題発見力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
9	第8講 ヒトとすまいのスケール(その2) 住空間のスケールを決定する様々な要因について考える。	講義 実習	自分の身の回りのモノや空間のスケールが理解できる。	(予習) 配布された講義概要を読んで、第8講の授業内容を確認しておく。 (復習) 授業ノートを整理する。	180	主体性 実行力 課題発見力 規律性
10	第9講 住まいの計画 間取りの基本について知る。	講義	生活や家族の形態との関係から間取りの類型を理解できる。	(予習) 配布された講義概要を読んで、第9講の授業内容を確認しておく。 (復習) 授業ノートを整理する。	180	主体性 実行力 課題発見力 規律性
11	第10講 安全な住まい 家屋の構造の種類とそれぞれの構造の特徴を学ぶ。	講義	家屋の構造の種類とそれぞれの構造の特徴を理解できる。	(予習) 配布された講義概要を読んで、第10講の授業内容を確認しておく。 (復習) 授業ノートを整理する。	180	主体性 実行力 課題発見力 規律性
12	第11講 快適なすまい 快適に住むために必要とされる条件について考える。	講義	外部環境制御と内部環境調整から快適な住まいを理解できる。	(予習) 配布された講義概要を読んで、第11講の授業内容を確認しておく。 (復習) 授業ノートを整理する。	180	主体性 実行力 課題発見力 規律性
13	第12講 ヒトの寿命と住まいの寿命	講義/ディスカッション	家族や住まいを経時的に変化するものとして捉え、そこで発生する問題への対応を理解できる。	(予習) 配布された講義概要を読んで、第12講の授業内容を確認しておく。 (復習) 授業ノートを整理する。	180	主体性 実行力 課題発見力 規律性
14	第13講 住まいに関する規定 住まいに関する法的基準、規定について学ぶ。	講義	「単体規定」と「集団規定」それぞれの意味を理解できる。	(予習) 配布された講義概要を読んで、第13講の授業内容を確認しておく。 (復習) これまでの授業内容を復習し、期末試験のための準備を行う。	180	主体性 実行力 課題発見力 規律性
15	第14講 これからの住まい 生活スタイルの多様化に対応した住まいのあり方を知る。 建築家たちによる住まい方の提案の事例について知る。	講義 ディスカッション	これからの家族やコミュニティのあり方について考えることができる。	(予習) 配布された講義概要を読んで、第14講の授業内容を確認しておく。 (復習) これまでの授業内容からレポートを作成する/これまでの授業内容を復習し、期末試験のための準備を行う。	210	主体性 実行力 課題発見力 創造力 傾聴力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力